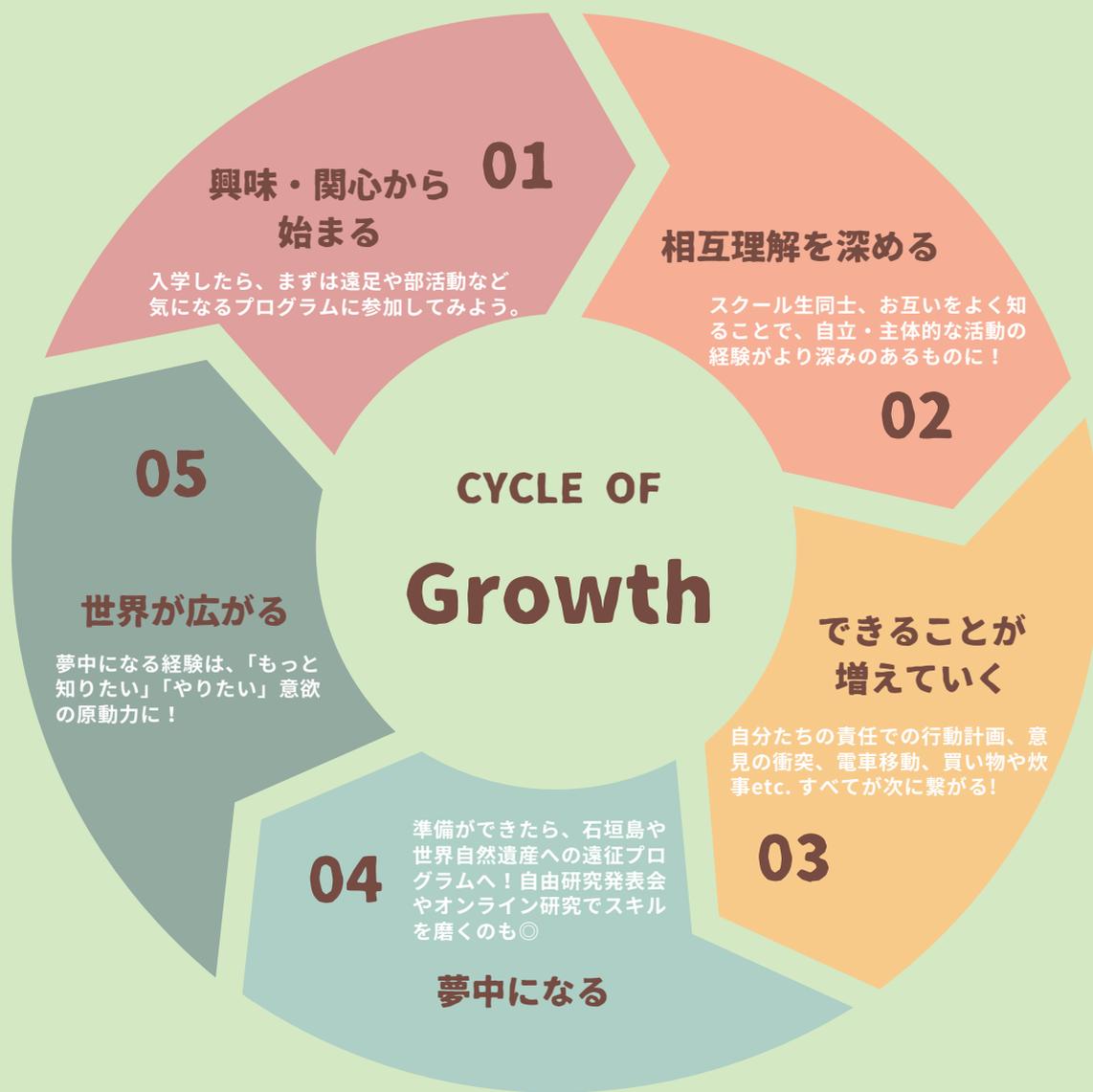




スクー生 の手引き

フリーダム・アイランド

フリーダム・アイランドでの成長サイクル



入学したら

まずは遠足や部活動、パラダイスデーなど、興味のあるプログラムに、1つでも2つでも参加してみましょう。フリーダム・アイランドでは、「白紙の状態から、自分たちの責任で活動をする」という要素がありますが、

- 1.フリーダム・アイランドのやり方に慣れているか
 - 2.子ども同士の相互理解が深まっているか
- によって、得られる経験や成長が、大きく変わってきます。

たとえば、「石垣島7日間生活に参加したい」という希望があったとしても、初回参加が石垣島となってしまうと、慣れるだけで日程の半分以上が終わってしまい、せっかくの7日間を成長に繋げることが難しくなってしまいます。事前に、遠足や部活動、パラダイスデーなどでやり方に慣れ、できることを増やしておけば、遠征プログラムで飛躍的な成長が期待できますので、積極的にどんどんお子さんを送り出していただければと思います。

プログラム選択の流れ

1 プログラム選択

3月・7月・10月・1月に、その後2~4ヶ月間のプログラム選択をまとめて行います。メールや保護者面談でも選択をサポートいたします。

2 プログラム参加

保護者の皆様との連携の上、一人ひとりの成長段階や、特徴・長所等を踏まえ、どのような方向への成長を促すかを考慮しつつ、一人ひとりにアプローチしていきます。

4 保護者面談

3月と9月には、オンライン保護者面談も実施します。お子さんの様子や状況、成長の観点から課題に感じていることなどをお伺いし、お子さんへのアプローチに反映させます。

3 フィードバック

次のプログラム選択前に、参加時の様子や、コミュニティ内で担っている役割、印象的なエピソード、長所などを、よりかね隊長よりEメールにてフィードバックいたします。

毎月の支払いイメージ

おおよそ四半期ごとに、参加するプログラムを選択いただき、次の2~4ヶ月分の月謝が決定されます。

- 5月・6月・7月・8月参加プログラム……3月上旬~中旬に選択
- 9月・10月・11月参加プログラム……7月上旬~中旬に選択
- 12月・1月・2月参加プログラム……10月上旬~中旬に選択
- 3月・4月参加プログラム……1月上旬~中旬に選択

【支払い例1】3~4月でパラダイスデー春休み（約4万円）のみを選択した場合
 $40,000円 \div 2ヶ月 = 20,000円 \rightarrow 20,000円 + 基本料金990円 = 20,990円$
3~4月の月謝は20,990円/月となります。

【支払い例2】5~8月で、パラダイスデー夏休み（約4万円）+石垣島7日間生活（約12万円）を選択した場合
 $(40,000円 + 120,000円) \div 4ヶ月 = 40,000円 \rightarrow 40,000円 + 基本料金990円 = 40,990円$
5~8月の月謝は40,990円/月となります。

【支払い例3】9~11月で何も選択しなかった場合
基本料金990円のみ
9~11月の月謝は990円/月となります。

※何も選択せずとも、基本料金はかかります。スクール生専用オンラインコミュニティや、保護者向けオンライン研究を活用できますので、ぜひご利用ください

プログラム参加 ガイド



自分で選択する

自分で決められるから夢中になり、飛躍する。プログラム選択は自分で！

怪我他トラブル

「選択」や「挑戦」を尊重する中で、さまざまな怪我をする可能性も。

現地集合・解散

自分で行って、自分で帰る。世界・行動範囲を広げるきっかけに。

年間プログラムイメージ

	主な行事	選択制プログラム	
4月		釣り部 船釣りチャレンジ (アジ釣り)	スポーツ麻雀部 (春季大会)
5月	・遠足 (日帰り)		
6月	・遠足 (日帰り)	釣り部 磯子海づり施設 石垣島7日間生活	スポーツ麻雀部 (秋季大会)
7月		世界自然遺産・奄美大島 野生の生き物探し	
8月	・自由研究作成ワークショップ		スポーツ麻雀部 (秋冬大会)
9月	・夏休み自由研究発表会	釣り部 釣りざんまい生活@神津島	
10月		世界自然遺産・知床 野生動物探し「大型哺乳動物編」	スポーツ麻雀部 (春季大会)
11月	学校行事・テストシーズン	釣り部 磯子海づり施設 釣り部 船釣りチャレンジ (大物釣り)	
12月	・遠足 (日帰り)	テーマパーク学部 オンライン研究①	スポーツ麻雀部 (春季大会)
1月	・遠足 TDSアトラクション制覇チャレンジ	テーマパーク学部 オンライン研究②	
2月		テーマパーク学部 オンライン研究③ 世界自然遺産・知床 野生動物探し「流水ウォーキング編」	スポーツ麻雀部 (春季大会)
3月・4月	・学年末祭 自由研究発表会 ・フリーダムトラベル	釣り部 磯子海づり施設	

●=パラダイステー ●=フリーダムデー (登校日)

※春休み終了以後は新年度となります
※上記はイメージです。休日の配置状況や新プログラム実施等により変更となる場合があります。詳細は、各年度の行事&プログラムカレンダーでご確認ください

3大プログラム



根幹プログラム「パラダイステー」

予定は白紙で、自分たちで計画し活動。公共交通機関を使って目的地に向かう、買い出しに行き自炊する、考え・価値観の違う他人と共存する方法を模索する——など、フリーダム・アイランドでの活動に必要な根幹を身につけるプログラム。



年に2回のフェスティバル「自由研究発表会」

フリーダム・アイランドで、どれだけ自分の世界を広げられた? どんなものに夢中になった? 何を好きになったり、詳しくなったりした? 楽しみながら、ビジネスシーンでも通用する一生モノのスキルのエッセンスを学べます。入試・進学の実績づくりにも!



1年の成長の総決算「フリーダム・トラベル」

日本地図を眺めて「ここに行ったら、どんな景色が?」から始まる自由旅行。“未知”に好奇心を向けるには、多くを知り、体験し、自分の世界が大きく広がっていないと難しい。フリーダム・アイランドで、どれだけ成長できたかが実感できる集大成プログラム!

免責事項

第1条：怪我について

- ① 「子どもが自分の責任で選択をして、自由に行動できる」環境を最優先に、子どもたちの見守りを行います。

したがって、プログラム参加時に、お子さん自身の「選択」や「挑戦」を尊重するなかで、火傷をする、包丁で指を切る、転ぶなど、さまざまな怪我をする可能性があります。

- ② 怪我をさせないプログラムではなく、怪我をする可能性のあるプログラムであることを、ご了承ください。

第2条：喧嘩などトラブルについて

- ① 「フリーダム・アイランド」では、意見の衝突や、喧嘩を、「価値観が違う他人と共存し、同時に自分の自由も守るためにはどうしたらいいのか？」という社会性を学べる、貴重な機会であると捉えています。

よって、居合わせた子ども同士の個性、相性によっては、トラブルが発生するケースがありますが、これを禁止せず、致命的な事故とならないように注意しながら見守ります（ただし、暴力行為は全面禁止とし、厳格に対処いたします）。

※暴力行為への具体的な対処（途中帰宅含む）についてはコンプライアンス・ポリシー「3. 暴力的行為／傷害への対応」をご覧ください

- ② スタッフは一人ひとりを近い距離から見守りつつ、細かくフォローをしていきますが、トラブル当事者の子ども、あるいは巻き込まれてしまった子どもが、突発的に怪我をしたり、精神的影響を受けたりする可能性があります。ご了承ください。

第3条：怪我、損害の補償について

- ① これら怪我や、喧嘩などのトラブルは、「フリーダム・アイランド」のプログラムを成り立たせる重要な要素の一つとなります。そのため、一般社団法人リアルエクスペリエンスでは補償をいたしていません。

またお子さんが、他のお子さんに怪我をさせたり、物を壊してしまったりした場合、高額な慰謝料等が請求されるケースがありますが、保護者さまの責任で解決していただくことになります。一般社団法人リアルエクスペリエンスでは一切責任を負わず、補償もいたしません。

- ② こうした怪我やアクシデントに備え、保護者の責任において国内旅行傷害保険やアウトドア保険の必要性を検討し、加入なさってください。一般社団法人リアルエクスペリエンスでは保険加入の斡旋は行っていません。

第4条：写真・動画の撮影、掲載

- ① 「フリーダム・アイランド」では、プログラムの魅力を発信したり、どのような体験ができるのかを伝えたりするため、プログラム当日の写真・動画を、YouTubeやSNSの公式アカウント、およびホームページ等で紹介することがあります。
- ② すべてのスクール生およびご家庭に、掲載のご協力をいただいております。その際、個人情報保護の観点から、個別に許可をいただいた場合を除き、スクール生の氏名は公開いたしません。

第5条：現地集合・現地解散の原則

- ① 「フリーダム・アイランド」では、現地集合・現地解散が基本となります。便宜上、スタッフとお子さんが待ち合わせをしてフィールドに向かう、同じ電車で一緒に帰るなど、同行となるケースもありますが、この場合でも移動中の事故・怪我等はすべて自己責任となります。

一般社団法人リアルエクスペリエンスでは、責任を負わず、補償もいたしませんので、ご注意ください。
- ② スタッフは、ツアーコンダクターではないため、法令違反となる旅程管理業務や案内業務を一切行えませんので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

第6条：アレルギー等について

- ① 参加するお子さんが、致命的な事故に繋がる恐れのあるアレルギーを保持していたり、そのほか特別の配慮を必要とする事由を抱えている場合は、保護者さまの責任において、「フリーダム・アイランド」入学時に、事前申告をするものとします。

申告がなかった場合、事故・トラブル等が発生したとしても、一般社団法人リアルエクスペリエンスでは、一切の責任を負わず、補償もいたしません。
- ② なお、申告いただいた内容により、事故を確実に防ぐことが困難だと考えられる場合は、参加申し込みをお断りせざるを得ない場合があります。できる限り前向きに検討をいたしますが、ご理解くださいませ。

第7条：プログラム参加の途中打ち切り

- ① 以下のような場合、プログラム参加を打ち切り、活動フィールド現地までお迎えに来ていただきます。
 - 1.責任を果たすことが難しく、他のプログラム参加者の活動を著しく阻害してしまう場合
 - 2.ルールを守ることができず、致命的な事故が発生するリスクを無視できない場合
 - 3.暴力行為があり、コンプライアンス・ポリシー「3. 暴力的行為／傷害への対応」に記載のプログラム参加打ち切り条件に該当する場合
 - 4.その他、プログラム運営責任者が、予定どおりのプログラム遂行が困難だと判断した場合

第8条：不可抗力による開催・運営中止

- ① 天災、世情不安、運営スタッフの怪我・病欠による欠員など、やむを得ない事情により、プログラム開催中止となる場合があります。運営側の過失によらない不可抗力での中止の場合、参加者様に損害が発生したとしても補償は一切いたしかねますので、ご了承をお願いいたします。

現地集合・解散について

首都圏近郊の日帰りプログラム等

- ① 指定駅の改札に集合です。具体的な場所は、オンラインコミュニティ（LINE）にて、その都度ご案内します。
- ② 帰宅時は、駅の改札通過まで見送り、写真・動画等で改札通過をお知らせします。
- ③ GPSでの見守り、乗換案内アプリの活用、トラブル発生時のLINE等、スマートフォンを活用する練習をしておくとう安心度が上がります。

パラダイスデー（千葉県御宿町）

- ① 希望者のみ、特急わかしお（東京 - 御宿）の指定席車内での集合し、一緒に移動することが可能です。
- ② 開催1ヶ月前を過ぎてから、パラダイスデー連絡用LINEグループにて、指定号車をお知らせしますので、予約なさってください。
- ③ 御宿駅で特急わかしお組が全員いることを確認してから、フィールドの藤井荘へ向かいます。

飛行機利用の 遠征プログラム等

- ① 航空券の手配は各自です。スタッフ利用便と同じ便を利用する場合は、羽田空港または成田空港から同行が可能です。
- ② ご希望の場合は、お申し込み時にスタッフ利用便・座席をお知らせしますので、近くの座席の確保をお願いいたします。
- ③ スタッフ同行の場合でも、搭乗券の管理は自分で行き、復路のチェックイン・預け荷物等は、自分で手続きする必要があります。





スマートフォンについて

フリーダム・アイランドでは スマートフォンの積極活用を推奨



時間制限はNG！セルフコントロールの訓練を重視するスマートフォンのルールの作り方、導入方法をよりかね隊長がイチから解説 (YouTube)

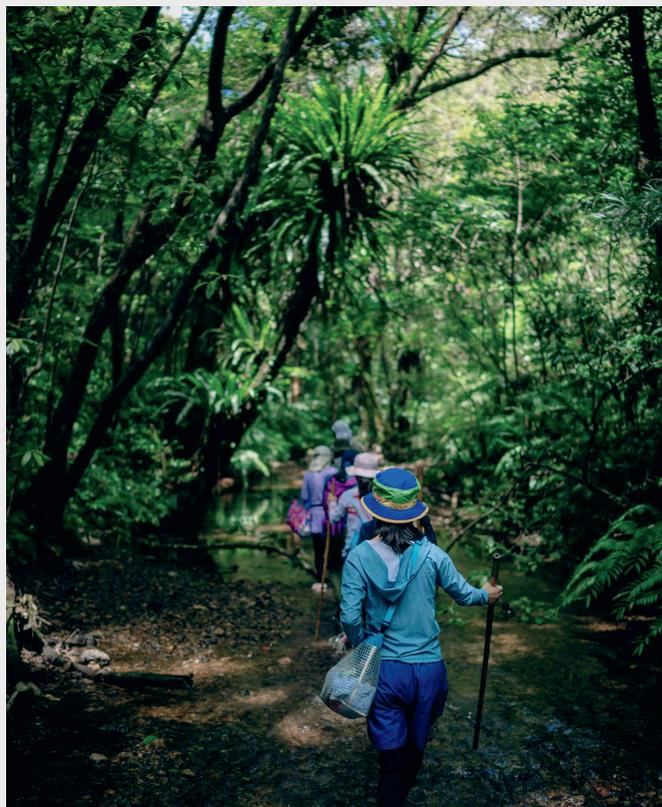


- ✔️ パラダイスデー、石垣島7日間生活、フリーダムトラベル等の自主主体的に活動するプログラムや、自由研究発表会など、様々な場面で、やりたいことを実現するために、インターネットを駆使して調べ物をする場面が多くあります。
- ✔️ また、スクール生LINEコミュニティ（オープンチャット）でやり取りをしたり、自分で遅刻等の連絡をしたりと、うまく活用している子もいます。
- ✔️ 現地集合・現地解散で子どもを送り出す不安も、GPSで見守りができたり、いざというときにLINEで連絡が取れたりすれば、安心度が高まります。乗換案内アプリやGoogleマップの活用も同様です。



ただし、家庭でのセルフコントロールの訓練は必須です (YouTube動画参照)。フリーダム・アイランドでは止める人がいないので、ふだん制限されていると、ここぞとばかりに、寝不足になるほど没頭する子もいます。

夢中になる力を、世界を自由に歩き回るための武器にする。



テストの点だけでは足りない

公教育は「少数の大人が、多数の子どもを指導する」という仕組み、そして「どのような子であっても取りこぼしは許されない」という大前提があり、子どもが、自分で興味を持ち、自分で世界を広げていける——そんな力を身につけられる教育の提供が非常に困難です。

しかしながら、グローバルな世の中で、立派に自分の足で立ってやっていくには、テストの点だけでは足りないのは言うまでもありません。あるいはインターネット環境が発達し、いくらでも情報を取り、考え方を学び、成長していける世の中になりましたが、好奇心や学ぶ意欲がなければ、これを活かさせません。

言うまでもなく、「やらなければいけないこと」「親（あるいは環境）に半ば強制されていること」等に夢中になるのは、本当に難しいものです。

「やってみたい」「気になる」から出発して没頭することを、当たり前自分の武器にする

しかし、自分で興味をもって、自分で選んだことであれば、人は夢中になり、驚くようなスピードで伸びていきます。

学業やテストの点も含め、あらゆる学びの源泉は、夢中になる力。自由と自己決定というと、“ゆとり”あるいは“放任”と見られることもありますが、実は正反対。子どもが、人が、最速で学び、成長していくために、なくてはならないから、とても大切なのです。

現代社会では、テストの点のとり方を教えてくれるサービス「学習塾」は、非常に多くの選択肢が存在しています。しかしながら、夢中になる力を伸ばし、進学やキャリア形成に繋げるサービスは、世の中にほとんど選択肢がありません。

フリーダム・アイランドは、10代前半の子どもたちの成長環境に、新しい常識を持ち込みます。そして、誰もが自分にあったスタイルを選べる社会を目指します。

テスト入試が5割を切る 時代の新概念スクール



夢中になることを武器にしてきた子どもたちが、さらなる飛躍を叶えるための滑走路

自分で興味を向ける力を磨いてきた彼ら・彼女たちの強みとは——圧倒的な早さで世界を広げ、知識を吸収できること。夢中になる体験を重視してこなかった家庭の子たちに比べ、厚みのある多彩な知識を蓄えやすい性質があり、驚くようなアイデア、様々な物の見方、情報収集力や分析力など、あらゆる能力の土台となります。

夢中になる力を武器に、進学やキャリア形成を考えられる時代に

昨今の大学入試では、一般選抜（旧来のテスト中心の入試）での入学者が5割を切るようになりました。そのかわりに、「これまでに何をしてきたか？」「どのようなキャリアイメージの元で大学を活用する計画か？」が問われる推薦入試や総合型選抜が増加を続けています。

個々の自立の度合いや、主体性、行動力、協働力、探究力——それまで何に関心を持ってどのようなことをしてきたか？どんな武器を磨いてきたか？が問われるというのなら、夢中になることを武器にしてきた子どもたちが極めて優位であり、しっかりと進学を意識した教育ができれば、独壇場となりえる可能性を秘めています。

1. 私たちが生きる社会の本質に触れる
2. 自分が社会とどう関わるのかを試行錯誤する
3. 世界を広げられるように、圧倒的にリアルな体験をさせてあげる

私たち親の想像を超えて、驚くようなスピードで世界を広げ、いつしか自分らしく社会へ羽ばたいていく……そんな子どもたちの姿を見るための新概念スクールが「フリーダム・アイランド」です。

コンプライアンス・ポリシー

一般社団法人リアルエクスペリエンスは、「フリーダム・アイランド」運営にあたり、次の通りコンプライアンス・ポリシーを定めます。スタッフや、スクール生とその保護者をはじめ、関わるすべての人に遵守していただくルール・規範です。

1

人権、児童（18歳未満）の権利、差別、ジェンダー

1. ここではすべての人が平等です

すべての大人と子どもは「ひとりの人」です。子どもだからと半人前にあつかわず、フェアに接します。性別、容姿、体格、人種、皮膚の色、言語、社会的出身、財産その他で不用意に区別したり、中傷したりしません。性同一性障害、性的マイノリティ等についても、秘匿の希望等も踏まえて、十分に配慮できるように可能な限りの努力を行います。

2. 自分で選び、自分で決め、思うよう行動してみよう

「何をするか」「何をしないか」を、自分で決める自由を保証します。自由な環境を成り立たせ、プログラムを円滑に運営するための必要最小限のルール／制約を除き、それ以外のところで何かを強制したり、押しつけたりしません。

スクール生を含むすべての人には、自分の意見を表明する権利があります。また一人ひとりの意見は尊重され、十分に考慮されるべきものとして扱われます。コミュニティのルールは、正当な手続きを経れば、スクール生たちがいつでも変更できるようにします。

3. オトナはコドモの、コドモはオトナの視線になって世界を見てみよう

すべての大人と子どもは、相手の考え・気持ちを想像し、お互いに歩み寄ることを大切にします。一人ひとりが別個の人間であることはもちろん、年齢や立場、育ってきた環境も違うために、完璧には理解できないとしても、理解しようと努力します。

4. 一人ひとりの大切にしたいことを尊重しながら、自分も自由になる方法を考えよう

意見の違いや衝突を忌避せず、価値観・考えの違う他人と、「いったいどうやって共存すればいいのか？」を試行錯誤します。「自分の自由」と「誰かの自由」が衝突して、うまくいかないときもあります。自分の「自由」を守ることは、何よりも大切です。そして言うまでもなく、ほかの誰かの「自由」を尊重することも、同じくらい大切です。



Point: 大人は子どもに対し「言うことを聞かない」と感じるかもしれませんがね。逆に子どもは大人に対し「つまらないことばかり言う」と感じるかも？でも子どもの（大人の）行動・発言には、すべてに理由があるはずですよ。

セクシャルハラスメント、 性犯罪防止

不必要な身体的接触の禁止

スタッフは、特に必要性があると認められる場合を除き（※）、スクール生や他スタッフの身体には触れずに業務にあたります。そのため、着替え、風呂・シャワー・トイレ・日焼け止めを塗る等のサポート、膝の上に座らせる・ハグする・抱き上げる・頭をなでる等のスキンシップ行為は、子どもから求められた場合でも、一切行いませんので、ご了承ください。

スクール生同士の間柄では、全面禁止とはしませんが、触られたくない・触りたくないという各自の意思が尊重されます。

（※）【身体的接触が許容される例外】腕相撲などルールが決まっている競技やゲーム等を合意の上で行う場合／怪我をして歩けず背負って移動しなければならない場合／暴力があり引き離さなければならない場合 etc.

セクシャルハラスメント、性犯罪防止ガイドライン

スタッフは、セクシャルハラスメント、性犯罪防止のため、次に定めるルールを厳守し、ガイドラインに沿って業務にあたります。

①子どもと1対1にならない

就寝場所・個室・トイレ・物陰など、第三者の目がない場所や、死角で、スタッフとスクール生が1対1にならないようにプログラムを設計します。また、スタッフは、スクール生と1対1にならないよう、十分に注意し、守るべきルールとします。スクール生と1対1になってしまったときは、即座に解消する責任を負います。

②ハラスメントの定義

親しみを込めたスキンシップなど、「これはハラスメントではない」という行為をする側の考えや感じ方は関係がなく、相手がどう感じたかが問題となります。不必要な身体的接触を行ったり、性的冗談を言ったりしないようにします。また止めてほしいとの意思表示があったときは、同じことを二度としません。

意思表示がなかったとしても、内心で嫌がっていれば、ハラスメントは成立します。「不必要な身体的接触を行わない」「性的冗談を言わない」を徹底します。

③具体的な禁止事項

- ・性別は関係ありません。女性→男性はもちろん、同性同士でもハラスメントは成立します。
- ・「男のくせに××」「女の子なんだから××」「男らしく～」「女らしく～」などは、性的役割分担意識に基づく発言で、セクシャルハラスメントに該当します。女性だから料理担当、男性だから力仕事担当etc.の行動振り分けも同様です。
- ・スクール生を呼ぶときは、名前や本人が希望するニックネームで呼びます。「女の子」「男の子」「男子」「女子」等は、人格を軽視された呼び方だと感じられる可能性があるため避けます。
- ・NGな発言・行動の具体例
 - 1.身体的特徴を話題にする
 - 2.性的な冗談を投げかける（直接的でない隠喩や示唆も含む）
 - 3.身体を執拗に見つめる、眺め回す
 - 4.身体に不必要に接触する、触らせる（マッサージをさせる、など）
 - 5.顔を極端に近づける

暴力的行為／傷害への対応

1. スタッフによる暴力的行為の全面禁止

社会に出る将来が目前に迫る10代前半の子どもたちの成長の場としてふさわしい環境となるよう、大人・子ども関係なく、暴力的行為（意図的に怪我させる・させようとする、あるいは怪我に繋がる可能性のある行為）を全面的に禁止します。スタッフによる暴力的行為が発覚した場合は、スタッフ参加の即時停止を含めた、厳しい措置を取り、即座に被害を受けたお子さんの保護者様への連絡を行います。

2. スクール生による暴力的行為、ケンカ、怪我をさせる可能性のある問題行為など【プログラム参加の途中打ち切りの対象】

スクール生による暴力行為も、全面禁止です。暴力行為が発生した場合は、スタッフが即座に介入し、次のとおり対処いたします。

プログラム参加の途中打ち切りとなった場合は、保護者様に現地までお迎えに来ていただくか、お子さん単独で帰宅していただくこととなりますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

内容	保護者連絡	参加打ち切り (途中帰宅)
ケンカでの身体的接触、問題行為（意図的に人に物を投げる、突き飛ばすなど。危険性が限られる場合）		
大怪我に繋がりがかねない、凶器・鈍器を持ち出して威嚇する等の問題行為	✓	
スタッフ介入2度目となった場合	✓	
スタッフ介入3度目となった場合	✓	✓
相手に病院での治療が必要な怪我をさせた場合	✓	✓

スマートフォン／インターネット 犯罪の防止

スタッフは、子どもと、LINEを含む連絡先の交換をしません

スタッフとスクール生のオンラインでのやり取りは、LINEコミュニティ（オープンチャット）上のみに関わり、保護者様に許可をいただいた場合を除き、個別の連絡先交換は行いません。





Officialホームページ

「フリーダム・アイランド」事務局
realexperience.univ@gmail.com

